

非プリン型選択的キサンチンオキシダーゼ阻害剤  
高尿酸血症治療剤

# フェブキソスタット錠10mg／20mg／40mg 「ニプロ」

## 「効能・効果」、「用法・用量」一部変更承認取得のご案内

2022年9月  
ニプロ株式会社

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、弊社製品につきまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、このたび、非プリン型選択的キサンチンオキシダーゼ阻害剤・高尿酸血症治療剤『フェブキソスタット錠10mg／20mg／40mg「ニプロ」』につきまして、2022年9月28日付で、「がん化学療法に伴う高尿酸血症」の「効能・効果」、「用法・用量」一部変更承認を取得いたしましたので、ご案内申し上げます。

今後とも引き続きご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

謹白

### 【承認内容】※下線部分が追加となりました。

	一部変更承認取得後	一部変更承認取得前
効能・効果	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 痛風、高尿酸血症</li><li>○ <u>がん化学療法に伴う高尿酸血症</u></li></ul>	痛風、高尿酸血症
用法・用量	<p>〈<u>痛風、高尿酸血症</u>〉 通常、成人にはフェブキソスタットとして1日10mgより開始し、1日1回経口投与する。その後は血中尿酸値を確認しながら必要に応じて徐々に増量する。維持量は通常1日1回40mgで、患者の状態に応じて適宜増減するが、最大投与量は1日1回60mgとする。</p> <p>〈<u>がん化学療法に伴う高尿酸血症</u>〉 通常、成人にはフェブキソスタットとして<u>60mg</u>を1日1回経口投与する。</p>	通常、成人にはフェブキソスタットとして1日10mgより開始し、1日1回経口投与する。その後は血中尿酸値を確認しながら必要に応じて徐々に増量する。維持量は通常1日1回40mgで、患者の状態に応じて適宜増減するが、最大投与量は1日1回60mgとする。